

シート 1

第 学年 組 番 氏名

※ 解答は、《解答欄》に書きなさい。

ポイント

- ・ 社会生活の中から話題を決め、多様な方法で材料を集める。
- ・ 異なる考えを想定して自分の考えをまとめる。

木田さんは、プレゼンテーションソフトを使って、「スナメリ」について発表することになりました。次は、木田さんの作った【発表原稿】と【資料】です。

【発表原稿】

私がスナメリについて調べようと思ったのは、新聞記事がきっかけでした。その記事を読んで、私は、中島周辺がスナメリの観察エリアだということを知りました。驚くとともに、「昔と比べると少ない」の言葉に触れ、スナメリが減った理由を知りたいと思いました。

ところで、みなさんはスナメリがどういった生き物か知っていますか。私は、以前、山口県の水族館で、ペブルングと呼ばれる輪を作るスナメリを見たことがあります。

この写真を見てください。おちやめな感じで、まるでぬいぐるみのようなかわいらしさです。

スナメリは、クジラ目ネズミイルカ科に属する小型齧クジラの種類です。体長は一メートル以上、大きくても一メートル以内で、主なエサは、イワシやイカ、カニなどです。海中を回遊せず、陸地に近い海などに生息する習性があるため、人間の生産活動の影響を受けやすいといわれています。

スナメリの生息数は、一九七〇年代から八割以上減少したというデータがあります。現在では、推計で五千頭ほどしかいません。広島や岡山では絶滅危惧種に、愛媛では準絶滅危惧種に指定されています。

では、スナメリはなぜ減ってしまったのでしょうか。

私が調べた本には、次のような理由が書かれていました。

まずは、漁船との衝突です。次に、埋め立てなどにより、スナメリの生活場所である浅い海域が減少したことも考えられます。生活海域が減少するにつれてエサも少なくなります。このほか、海水汚染などによる化学物質の体内への取り込みもあるとのこと。スナメリには化学物質を分解する酵素がなく、おそろしいことに、体内に取り込まれたものはすべて蓄積されてしまうのです。また、味覚がないため、ビニールなどの生活ごみを食べ物だと思つて食べ、死んでしまうこともあるそうです。

こうした原因を知つて、私は悲しくなりました。それは、原因のほとんどが（ ）だからです。

スナメリは、瀬戸内海の食物連鎖の頂点にいる生物です。スナメリが多く生息する海は、汚れない豊かな海であるといえます。現在、絶滅のおそれがある生物はたくさんいるのに、その中の特定の生物を守るだけでいいのかという考えもあるでしょう。しかし、瀬戸内海の影響を受けて暮らしている私たちは、まずは地元の生物であるスナメリにもっと関心を寄せるべきだと思います。スナメリを思つて行動することは、例えばサザエやワカメのようなほかの生物を助けることにもつながるからです。化学物質を海に流さないよう気をつけることなどは、どの家庭でも、今日からできることではないでしょうか。

※ 回遊：魚が群れをつくり、季節的に移動すること。

※ 酵素：物質の化学的分解や合成を行うタンパク質。

オ

“ぬいぐるみ”のような愛らしさ！



ウ

現在の瀬戸内海での生息数

推計5千頭

※広島・岡山では絶滅危惧種

※愛媛では準絶滅危惧種

ア

県内屈指のスナメリ観察エリア

～^{お島}松山市沖の中島周辺～

「昔と比べると少ないが、5～6年前から見かけることが増えた」

(中島汽船船長の言葉)

愛媛新聞 2014年3月17日

カ

スナメリとは

- ・クジラ目ネズミイルカ科
- ・体長 1～2m
- ・エサ イワシやイカ、カニなど
- ・生息場所 **陸地に近い海**

エ

スナメリのいる海

= **汚れのない豊かな海**

海に、化学物質を流さないでね。



イ

主な減少理由

- ・漁船と衝突
- ・生活海域の減少
- ・エサの減少
- ・海水汚染による化学物質の取り込み
- ・生活ごみの誤飲

シート 1 正答例

- 1 ア → オ → カ → ウ → イ → エ
- 2 イ
- 3 例
- 4 スナメリを
- 5 (例) 人間の生産活動、人間がしたこと
- 6 現在、絶滅